

**第2次南アルプス市総合計画  
後期基本計画・施策マネジメントシート**

作成日: 令和 3年 7月27日

更新日: 令和 年 月 日

政策No.	1	政策名	安全でみどり豊かな 人がつながるまちの形成	施策主管課	市民活動支援課
施策No.	2	施策名	市政への市民参加の推進	施策主管課長名	時田 啓
施策関連課名			秘書課		

**1 施策の目的と指標**

(1)対象(誰、何を対象としているのか) ※人や自然資源等	市民	(3)対象指標(対象の大きさを表す指標)	A 人口	単位	人
(2)意図(この施策によって対象をどう変えるのか)	自主的にまちづくりに参加・参画する	(4)成果指標(意図の達成度を表す指標)	① まちづくりに関心がある市民の割合	単位	%
			② 協働や協働のまちづくりに関心がある市民の割合	単位	%
			③ 市民活動団体の登録件数	単位	件
			④		
成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)	① 市民のまちづくりへの関心度を示す/まちづくりに関心がある市民が多いほど、市民のまちづくりへの自主的な参加・参画の可能性が広がるので、成果指標とした。 ② 協働のまちづくりの認知度を示す/協働や協働のまちづくりに関心があることは、市民がさまざまな分野で自主的にまちづくりに参加・参画することにつながるため、成果指標とした。*協働のまちづくり...市民と行政がともにかわりあいながら、「行政だけ」「市民だけ」ではなく、相互に連携し力をあわせてまちづくりを行うこと。また、市民が市政に積極的に参画していこうという意味も含まれる。 ③ 市民活動団体の登録状況を示す/市民活動団体の数が増え、さらに市に登録されることで、市民活動団体同士の交流や行政との連携によるまちづくりが進むので、成果指標とした。 ④				
成果指標の測定方法 (どのように実績値を把握するか)	① 市民アンケート「まちづくりに関心がありますか」において、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の割合 ② 市民アンケート「協働」や「協働のまちづくり」の意味をご存知ですか」において、「知っている」と回答した人の割合 ③ 市民活動センターに登録された市民活動団体の数 ④				

**2 指標等の推移**

指標名	単位	数値区分	前期基本計画					後期基本計画					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
対象指標 A 人口	人	見込み値					71,089	70,568	70,041	69,521	68,996	68,430	
		実績値	72,305	72,018	71,880	71,602	71,370	71,249					
		見込み値											
		実績値											
成果指標 ① まちづくりに関心がある市民の割合	%	目標値	-	-	-	-	-	57.0	59.0	61.0	63.0	65.0	
		実績値	-	-	-	56.6	54.3	50.7					
		目標値	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	
		実績値	21.3	18.6	21.6	12.5	12.4	10.7					
		目標値	-	-	-	-	-	108	108	108	108	108	
		実績値	120	126	115	108	104	100					
		目標値											
		実績値											
目標設定の考え方・理由(可能性と必然性)													
① 初回のアンケート結果が56.6%であり、まちづくりに関心を持たせることを若干上乘せをして目標数値とした。													
② 協働や協働のまちづくりに関心がある市民の割合を全体の1/3くらいとする。前期最終目標値に実績値が達していないので、令和2年度を15%と設定して後期の最終目標値を前期最終目標値とする。													
③ 後継者がいないなどの理由で活動を続けることが難しい団体がある中、目標値は現状維持を期待した数値とする。													
④													

**3 施策の役割分担**

①市民(市民、事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)	②行政(市、県、国)の役割(協働を進めるため市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
市・地域・市民活動団体で行われる行事、イベントに参加する。	市が進めているまちづくり、協働の内容、市民活動団体の状況等について、啓発・周知・教育を推進する。

**4 施策の状況変化・住民意見等**

①施策を取り巻く状況変化(対象や根拠法令等は、今後(~R6年度末を見越して)どのように変化するか?)	②関係者からの意見・要望(この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?)
まちづくりに無関心な人が増える傾向にある。現実、災害等市内において被害にあったことがないため、互いに助け合う気持ちが根付いていない。市民活動団体については、後継者がおらず活動の継続が難しい団体もある。また、市民活動をしているが市民活動センターに登録しない団体・グループもいる。	協働という意味がわかりづらい。もっと情報発信・情報提供をしてほしい。

**5 予算等の推移**

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
関連事業本数	17	17			
関連事業予算額(単位:千円)	52,288	53,546			
(予算額の内訳)	国庫支出金	30	30		
	県支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他	1,837	1,738		
	一般財源	50,421	51,778		

(1) 目標達成度(目標値との比較)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 目標より高い実績値だった <input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標どおりの実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば目標より低い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標より低い実績値だった	3つの成果指標とも、目標値には達していない結果となった。 共働き世帯や個人主義傾向が強くなり公共にかかると感じるまちづくりについての関心が低下していると考えられる。 また多忙な日々を送り、余暇の時間の使い方がレジャーや娯楽、あるいは休息する時間に充てていることが考えられ、まちづくりへの魅力を感じていないことが考えられる。 市民が興味を持ったり、若い世代が魅力を感じるような情報の発信が必要と考えられる。	
(2) 時系列比較(どのように変化してきたか)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	3つの成果指標とも、過去の実績値と比較して減少傾向にある。 「協働」や「協働のまちづくり」の意味や取り組みがわかりづらい結果、数値が低下していると考えられる。 また、まちづくりに対する魅力を感じていないと考えられる。	
(3) 他団体比較(近隣他市、県・国との比較など)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	「協働」や「協働のまちづくり」について知っている市民の割合は、近隣市において同じ設問での市民アンケート調査を実施していないため比較はできないが、それぞれの自治体に合った協働の取り組みを進めており、本市においても同様に活動を行っていることから、ほぼ同水準と判断した。 市民活動団体の登録件数については、県内で活動センターを設置している自治体は、本市と甲府市のみのため、近隣の自治体では把握ができていないのが現状である。 本市の市民活動団体においては、団体の構成員の高齢化、また若者の参画が依然低迷している傾向が看取される。	

7 基本計画期間における施策方針

(1) 施策の基本方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のまちづくりへの関心を高め、市政への積極的な参画を促す。</li> <li>協働のまちづくりについての啓発を推進する。</li> <li>市民活動団体の支援を図り、まちづくりに結びつけていく。</li> </ul>

8 施策の目標達成のための基本事業の今年度(R3年度)の取組(事務事業)状況・今後の課題と次年度(R4年度)の方針

基本事業	今年度(R3)の取組(事務事業)状況及び今後の課題	次年度(R4)の方針
1 まちづくりへの参加の促進	市民に市政やまちづくりの現状、課題について共有しまちづくりに参加してもらえるよう情報提供と相談窓口の場を設ける。	市民に市政の現状や課題、今後のまちづくりの方向性を情報として知らせ、興味を持ってもらう。更に、参加してみよう意識するような情報を提供していく。
2 協働のまちづくりの普及・啓発	協働事業に参加した人たちの意見交換や情報交換の場として市民活動センターを積極的に利用するよう啓発していく。	市民みんなのアイデア(気づき・発見・望み)で南アルプス市が変わると意識付けをしていく。協働(コラボ)に参加した人たちのネットワークを使い、活動の輪を広げていく。
3 市民活動団体の支援	市民活動団体の活動状況を把握しながら適切な支援を行っていく。またまちづくりへの意識を高めるため相互の情報交換を積極的に行う場づくりを行う。	市民活動団体が市民活動センターを利用することで活動がまちづくりに結びついていることを情報発信する。また人と人をつないでいく相談及び支援を行う。
4		
5		